

2020 年度 デジタル・ビジネス研究

## 第 2 回研究会

開催日： 2020 年 10 月 19 日

テーマ： ニューノーマルを先導するテレワーク

講師： 小豆川 裕子氏 (常葉大学経営学部経営学科教授)

### 議事概要：

- ・ コロナ禍以前のテレワークは「働き方改革」「地方創生」の実現手段という意味が強かったが、コロナ禍後は BCP の確保 (感染リスクの回避) に重点が置かれている。
- ・ 緊急事態宣言前から多くの企業がテレワークへシフトしている。在宅勤務上限の撤廃や 2 チーム交代制の在宅勤務など、運用の工夫も見られた。テレワーク利用の阻害要因トップは、「同僚 (上司や部下を含む) とのコミュニケーションに支障がある」だった。
- ・ 課題を出して改善している企業と、環境が未整備でほとんど自宅待機になっている企業に二分化している。企業・個人のデジタル化、IT リテラシー格差が競争格差につながる可能性もある。
- ・ 感染リスクの回避意識の高まり、働く場所の多様化により、多地域居住、多地域での副業・兼業が現実的になってきたため、テレワーク移住で、人・しごと・情報の新たな交流で、イノベーション創出、地方創生も期待できる。